

研究背景

介護者の数は年々減少し、個々の作業割合が増加

介護者が要介護者全員の様子を見るのは難しい



介護者をサポートするシステムを作る！

目的

声かけによる要介護者へのメンタルサポート



設計方針

介護者のように要介護者の様子を声色などの様々な視点から観察

要介護者に正確なメンタルサポートをすることができる！

要介護者が自然に接することができるように愛らしい見た目

Raspberry Piをぬいぐるみに入れて音声を流す。コミュニケーションロボットのように接することができる！



設計

要介護者の様子を把握するのに感情分析を利用

音声分析



結果：HAPPY

感情を判断
音声ファイルを作成し再生

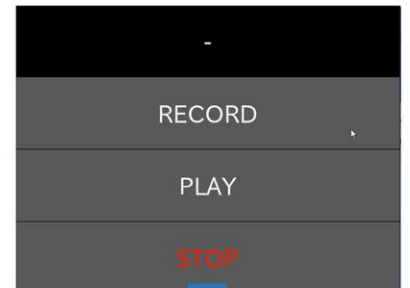
うれしそうですね

音声を再生し
要介護者に声かけを行う

うれしそうですね

実行結果

音声から文字を起こし対応したフレーズを送信できた



点滴が終わりました



点滴完了



図2 音声認識を行っている画面

今後の課題

各システムの統合に加え、より使いやすくなるためAndroidアプリ化の実施

参考文献

[1]"fer 21.0.5"
<https://pypi.org/project/fer/> (最終閲覧日:2021-11-16)
 [2]"平成30年度介護労働実態調査結果について"
http://www.kaigo-center.or.jp/report/pdf/2019_chousa_kekka.pdf(最終閲覧日:2022-02-14)